

令和3年度 第6回 若葉区区民対話会概要 「高校生と考える若葉区の魅力発信！」(桜林高等学校)

1 区長挨拶

2 自己紹介 (高校生)

3 意見交換

<若葉区の魅力は何か>

- 一番の強みと思うのは、加曽利貝塚が近くにあること。
- 動物公園はモノレールを使って行けるのがよい。ライオンやチーターがいて、夏に行ったら、いい意味で千葉らしくなく高原に来たような感想を持った。レッサーパンダの風太以外にも見どころはたくさんあるので、もっとアピールした方がいい。
- 谷津田や坂月川では夏にホタルが見られるので、自然が好きな人にアピールできる。
- 若葉区産の野菜がおいしい。その野菜を使ったオリジナル料理やレシピをつくって発信したらアピールできると思う。

<若葉区の弱いところはどこか>

- 交通の便が悪い。車なしでは訪れるのが困難な場所が多く、もったいない。
⇒既存の名所を活かすには、交通の便の改善が必要。
- 買い物ができる場所が少ない地域では、買い物難民問題が発生している。
⇒デマンドタクシーやグリーンスローモビリティなどによる対応が考えられるが、いずれにしても検討が必要。
- 治安が悪い印象がある。都賀駅前に酒の空き缶が落ちている、夕方の公園に不審な人がいる、下校途中に人の気配のない集合住宅があるなど、不安だ。
⇒警察の協力も得て、防犯面を強化して地域の印象を良くすることは重要。

<若葉区の魅力を市の内外にどう発信していくか>

- ・自分たちのような若い世代だと、ツイッターやインスタグラムなどの SNS 利用率が高い。You Tube の活用、地域の高校生による情報発信や若葉区出身の有名人に発信をお願いしたらどうか。また、TikTokは、有名人でなくても地元で集めた情報を発信すると目に留まりやすいので、活用手段としては手っ取り早いと思う。
- ・アニメとコラボすることで、その作品が好きな人が見てくれる効果が見込める。(千葉都市モノレールが初音ミクとコラボした例あり。)
- ・通学の時など、駅の広告はぱっと目に入りやすく、興味がわいて出かけることが多い。
- ・若葉区にある企業に協力してもらい、デザインカーを走らせることで、市の予算をかけずに効果的に情報発信できるのではないかな。
- ・市のホームページを見た人限定で、動物公園や市営プールの割引が受けられるような取り組みを実施したら、家族連れの人を市の施設に誘導できるのではないかな。
- ・自分たちが知らない区の魅力を課外授業のような形で市職員から伝えてほしい。
- ・祭りなど、地域外の人にも楽しみにしていたイベントが開催されなくなっている。特に過疎地域でのお祭りを1つでも2つでも増やしてもらい、そこに高校生が出演したりすれば、保護者や友人も呼べるし、地域の活性化につながると思う。コロナで制限されている現状はあるが、やはり地域のイベントは重要。
- ・昭和の森にあるような大きなアスレチックなどが1つ増えるだけで、注目されると思う。
- ・地域新聞で市の情報を得ることがある。もっと発行してもらえると嬉しい。
- ・自分の家は自治会に入っていて回覧が回ってくるが、自治会を抜ける人が多く、その人たちには情報が届かない問題があると思う。

以上